

教科名	数 学	週時間数	3	学 年	2
使用教科書 及び 副教材等	中学校 数学2 (数研出版) OKRA (オクラ) 2年 (正進社)				

指導の重点	・数学に興味を持ち、学習内容を生かして問題解決しようとする生徒の育成				
学習のねらい	・数学で学んだことを生かして、日常生活における数学的な問題解決をはかろうとすることができる。 ・基礎基本の定着をはかり、それを活用しようとするすることができる。				
授業の進め方	・授業の中で、めあてと振り返りを意識した学習展開にする。 ・教科書の内容を中心に、ワーク、プリント、iPad等を使って学習を進める。 ・振り返りシートを活用し、各個人に応じた支援を行う。 ・章ごとに習熟度別に分かれて、学習を進める。(第2章から)				
定期テスト	出題方針	教科書の内容に準じて、基礎基本から、その活用力を問う問題まで幅広く出題する。教科書、副教材、授業ノート、プリントなどから知識・技能、思考力・判断力・表現力などを問う問題を出題する。			
	範 囲 (予定)	1学期中間	式の計算		
		1学期期末	連立方程式		
		2学期中間	1次関数・図形の性質と合同		
		2学期期末	図形の性質と合同・三角形と四角形		
学 年 末		2年生で学習した全範囲			
学習方法 (アドバイス等)	毎時間の授業に集中して取り組むことが大切です。授業ノートやワークなどを使い、その日に学習したことを家でも振り返ってみましょう。家庭学習を自分でしっかりと取り組み、苦手な分野の把握と改善に努めましょう。				

	観 点	評 価 規 準	評価方法
評 価	① 知識・技能	数量や図形などについての基礎的な概念や原理、法則などを理解している。また、さまざまな事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	・授業の様子 ・定期テスト ・授業プリント など
	② 思考・判断・表現	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし、統計的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて、事象を簡潔・明瞭に表現する力を身につけている。	・授業の様子 ・定期テスト ・学びの足跡 など
	③ 主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学の良さを実感して粘り強く考え、数学で培った力を普段の生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。	・授業の様子 ・振り返りシート ・ノート、問題集 ・学びの足跡 など

年間授業計画書					
学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
前年度 学習済 1	4	1. 式の計算	・単項式と多項式	1	・1年生の学習内容をより発展させ、加減乗除ができるようになる。 ・文字式を利用することでいろいろな問題を解決できることを学び、文字式の大切さを感じとる。
			・多項式の計算	3	
	5	1. 式の計算	・単項式の乗法・除法	2	
			・式の値	2	
			・文字式の利用	3	
	6	2. 連立方程式	・等式の変形	2	
			・章末問題	2	
7	3. 1次関数	・連立方程式とその解 ・連立方程式の解き方 ・いろいろな連立方程式の解き方 ・連立方程式の利用 ・章末問題	2 4 3 5 2	・2元1次方程式とその解の意味や、連立2元1次方程式の必要性和解の意味を理解し、その解を求められるようにする。 ・具体的な場面において活用する。	
2	8 9		・1次関数の式	1	・具体的な事象の中にある1次関数の関係を調べて理解し、関数的な見方や考え方をさらに深める。
			・1次関数の値の変化	1	
	・1次関数のグラフ	4			
	10	4. 図形の性質と合同	・1次関数の式の求め方	3	
			・2元1次方程式のグラフ	2	
11	4. 図形の性質と合同	・連立方程式とグラフ	2	・関数の関係を式やグラフで表現することによって、具体的な事象の問題を解決できるようになる。	
		・1次関数の利用	3		
12	5. 三角形と四角形	・直線と角 ・三角形の角 ・多角形の内角と外角 ・合同な図形 ・三角形の合同条件 ・証明のしくみ ・章末問題	3 3 3 1 2 4 2	・観察や操作を通して図形の性質を見出し、その性質が正しいことを論理的な方法で説明するための基礎的な力をつける。 ・自分の言葉で他者に伝わるようにわかりやすく表現することができるようになる。	
3	1		・二等辺三角形	3	・三角形の合同条件をもとにして、図形の性質を証明によって確かめ、論理的に考察する力をさらに養う。
			・正三角形	1	
	・直角三角形	2			
2	6. データの活用	・ことがらの逆と反例	1		
		・平行四辺形	6		
3	1		・特別な平行四辺形	2	・複数の資料について、四分位数を求め、箱ひげ図に表すことで、資料の比較を行うことができる。
			・面積が等しい三角形	2	
	・章末問題	2			
2	6. データの活用	・四分位数と四分位範囲	2		
		・箱ひげ図	2		
3	7. 確率	・データの傾向と調査	1		
		・章末問題	2		
3	学年のまとめ	・確率 ・いろいろな確率 ・章末問題	2 3 1	・確率の定義を知り、その定義にもとづいてさまざまなことがらの起こる確率を求める。	